

【不倫調教】「女の子としては君が一番だよ」
〜クズな既婚者彼氏から離れたいのに、気持ちよく堕とされて離れられません〜

サンプル（一部抜粋）

「...おまたせ。待った？」

（そっと抱き寄せる音）

「会いたかったよ。ずっと。」

（家に入りドアと鍵を閉める音・そっとキスをしようと顔を覗きこむわずかな音）

「.....？
顔、なんで背けたの？
キス、嫌だった？」

「.....もう二番目は嫌って？
いつ離婚してくれるの...か。」

（ゆっくり一歩、彼女に近づく音）

「...忘れちゃったの？
俺達の関係が始まったきっかけ。」

「...俺にされた事を思い出して、オナニーしてたんだろ？
それでも満たされなくて、寂しくて...俺が欲しくなった。
それが募りに募って...今日の不満に至る...といった所かな？」

（パチンとブラのホックを外す音）

「ほら、耳が少し赤くなった。
図星だろ？」

（ゆっくり乳首をこねるように撫でる音）

「...黙ってちゃ、分からないよ？
どんな風にオナニーしてたの？」

「こらこら、誰が指、休憩していいって言った？
ちゃんと教えた通りにくちゅくちゅしなきゃダメだろ？」

（指を握ってクリトリスを強引に弄らせる音・奥を突き上げるぐちゅ音）

「はあ...気持ちいいの？
よく締まるね。」